

MTDLP 事例発表会における発表者の皆様へ

1. MTDLP 事例発表会の目的

- 1) MTDLP を用いた事例発表を通してその使い方を理解する。
- 2) 事例発表・事例検討を通して
 - ①生活行為に焦点をあてた介入方法を学び、個別対応力を高める。
 - ②他職種等の連携方法を学び、作業療法士としてのマネジメント力を高める。
 - ③具体的な MTDLP 実践を学び、継続的な MTDLP の実践に努める。
- 3) 事例発表をすることで、自己の介入を客観的に振り返る。

2. 日本作業療法士協会（以下、協会）ホームページの事例報告登録システムより、事例報告書作成の手引き（生活行為向上マネジメント）をダウンロードし、**熟読**してください。

3. 対象者から、事例発表に関する説明と同意を必ず得てください（同意書の提出は必要ありません）。

4. 発表用シートは、A コース・B コースより選択し、協会 HP よりダウンロードして、使用してください。

発表用提出シート一覧

●A コース：事例発表後に協会の事例報告を行い、MTDLP 指導者を目指す方

- ①一般情報シート（事例登録用）
- ②生活行為向上マネジメントシート（事例登録用）
- ③生活行為課題分析シート（事例登録用）
- ④社会資源情報シート（事例登録用）
- ⑤事例報告書（事例登録制度に準じて作成）
 - A) 題名・所属名・協会番号・氏名
 - B) 報告の目的：200 字以内
 - C) 事例紹介：400 字以内
 - D) 作業療法評価 600 字以内
 - E) 介入の基本方針 200 字以内
 - F) 作業療法実施計画 600 字以内
 - G) 介入経過 800 字以内
 - H) 結果 500 字以内
 - I) 考察 700 字以内
 - J) 文献 275 字以内

●B コース：事例発表にて MTDLP 研修修了（MTDLP 実践者）を目指す方

- ①生活行為向上マネジメントシート（事例登録用）
- ②事例報告書（以下の項目を参考に A4 2 枚以内で作成）

発表当日のタイムテーブル・内容

- 1) 1 事例当たりの所要時間は 4 5 分以上とする
・事例発表：1 5 分 ・質疑応答：5 分 ・グループ討議（5 名以上）：2 0 分 ・まとめ：5 分
- 2) **5 名以上 1 グループを目安とし、事例発表後グループ討議を行います。**
- 3) MTDLP 講師 1 名以上の出席を必須とし、出席した MTDLP 講師が討議をまとめます。
- 4) 事前に「MTDLP 事例発表におけるチェックリスト」で自己チェックを行ってから発表に臨んでください。

オンライン開催の場合は、発表時にデータでの資料提示が必要です。予めご準備下さい。

研修会申し込みページに記載されている日時までに、発表で使用する資料全てを PDF 化し、担当者のメールアドレスまで送って頂くことで、申込完了とします。

1. メールの件名に発表会名と A コース・B コースいずれかを記載してください。
2. メール本文に所属名・協会番号・氏名を必ず記載してください。
3. PDF ファイル名は「発表者氏名とシート名」にしてください。（例：「兵庫太郎 マネジメントシート」）
4. 事例発表資料提出先：ホームページで案内されている連絡先に提出してください。